

点検・評価の結果

政府統計コード	00500248
基幹・一般の別(選択記入)	特定一般統計調査
調査の名称	野生鳥獣資源利用実態調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他(農業・食料関連産業の経済計算の作成に利用、鳥獣被害防止対策に関する政策立案の参考資料として利用)
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

<p>調査計画との整合性 (整合している場合チェック)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 1.調査の目的 ☑ 2.調査対象の範囲 ※ ☑ 3.報告者数等※ { 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 } ☑ 4.報告事項とその基準期日 ※ { 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 } ☑ 5.報告の方法 ※ { 報告を求めるために用いる方法 } ☑ 6.報告を求める期間 ※ ☑ 7.集計事項 ※ ☑ 8.結果の公表方法及び期日 ※ { 調査結果の公表の方法及び期日 } ☑ 9.使用する統計基準 ☑ 10.調査票情報の保存 { 調査票情報の保存期間及び保存責任者 } ☑ 11.立入検査 { 基幹統計調査のみ } 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 20px; text-align: center;"> <p>全項目整合</p> </div>
-------------------------------------	---	--

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②で記載

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

<p>業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等</p>	<ul style="list-style-type: none">■ 課題なし□ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む）□ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
--	---

③ 必要な精度の確保・向上の観点

1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙也可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙也可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
	<div><div>達成精度</div><div>回収率・回答率</div><div>回収調査票数</div><div>カバレッジ</div><div>その他</div><div>○ 設定なし</div></div>	全数調査であるため、精度管理の目安としている指標は設定していない。 なお、有効回答率は右記のとおり。	—	有効回答率 令和5年度結果 76.8%	有効回答率 令和4年度結果 68.3%	有効回答率 令和3年度結果 71.2%